

1 活動のねらい

- 自分たちを取り巻く環境に関心を持ち、森林の果たす役割を理解する。
- 間伐材を用いた製作活動を通して、身近な地域の森林やその利用に対する関心を高める。

2 主な活動

田村森林組合の方を講師として招き、森林に関する講話を聞くとともに講師の方の指導を受けながら間伐材を使用した作品を製作する。

○森林環境学習の方法

- ・総合的な学習の時間を利用して実施する。
- ・田村森林組合から4名の職員の方を講師としてお招きする。
森林の働きについて講話を聞く。
間伐材を用いた作品製作を行う。
- ・補足資料となる文章を読み、森林の重要性についての理解を補う。

○活動内容

- ・森林環境学習のねらいと方法について
話題に上る環境問題と森や木の働きについて
間伐材を活かした作品づくりの事前準備について
- ・講話と製作活動
学年生徒全員で講話を聞き、森林の働きや間伐の必要性について学ぶ。
間伐材を用いた製作キットを組み立て、一人ずつ宝箱を作る。
- ・森林についての理解を深める
講話の内容を受け、補足となる資料を読み、森林および環境保全の重要性についての理解を深める。

3 活動の成果

- 田村森林組合の方々を講師として学ぶことにより、森林の果たす役割の重要性や森林を維持する上での課題について理解を深めるとともに、身近な問題としてとらえることができた。
- 講師の方々の丁寧な指導を受けながら製作活動に取り組むことで、木を材料としたもの作りの喜びを味わうことができた。また、間伐材を有効活用することの意義とその方法を学び、森林の利用に対する関心を高めることができた。

完成した木製宝箱

